

やさしい気持ちお届けします

ボランティア活動者ご紹介



「ボランティアはじめて講座」受講後、 『傾聴ボランティア』で活動中！

前田地区にお住まいの田中明美（たなかあけみ）さんは、現在、特別養護老人ホームつむぎの杜（前田2条10丁目）で「傾聴ボランティア」をしています。

活動のきっかけは、昨年7月に開催した、手稲区社協主催の「ボランティアはじめて講座」に参加したことでした。この講座の中で、傾聴ボランティアを学ぶ機会があり、自分ができる高齢者へのボランティア活動として傾聴ボランティアにチャレンジ。今は、「傾聴ボランティア・アクティブ17」に所属し、仲間と共に有意義な時間を過ごしています。

最初は緊張しますが、利用者さんがいきいきと話しをされているのが嬉しく、その後の活動はとても楽しみです。何かボランティア活動をしたいと思って、「ボランティアはじめて講座」に参加して、今の活動をしています。やはり、喜んでいただくと嬉しいです。

『傾聴』の際には、単にお話をするのではなく、利用者さんと一緒にいる時間を「共感」するよう心がけています。

つむぎの杜の相談員さんは、活動について丁寧に説明してくれるので、利用者さんの事をしっかり考えて活動することができ、安心感があります。

良い仲間にも恵まれているので、細く長く無理せずに活動をしていきたいです。



「日常生活自立支援事業」の『生活支援員』をしています



後藤一子さん

富丘にお住まいの後藤一子（ごとうかずこ）さんは、手稲区社会福祉協議会が実施している、「日常生活自立支援事業」（高齢や障がいのために、日常生活の金銭管理などに不安のある方が、地域で安心して暮らせるようにお手伝いをする事業）で、支援活動を行う『生活支援員』として活動しています。

活動内容は、月に1回、この事業を利用されている方に送付される書類の確認や、日常生活費の管理のお手伝いです。

後藤さんにとってこの活動は、地域社会に貢献し、毎日の生活を有意義に過ごしていく良いアクセントになっているようです。

活動のきっかけは、今から7年前に社協の職員からこの活動の事を聞いたことでした。

福祉に興味もあったので、自分でもできるかなと思い活動を始めました。

この活動が大変だと思ったことはありません。月に1回ですが、利用者の方に歓迎されると嬉しく思います。

これからも利用者さんの気持ちを大事にして接していきたいです。